

食育推進に関する主な事業

基本目標Ⅰ	食を通じた健康づくりをすすめましょう	P1～
基本目標Ⅱ	ふくおかでとれる食材を日々の食事に活かしましょう	P4～
基本目標Ⅲ	食を楽しみ、ふくおかの食文化を伝えましょう	P6～
基本目標Ⅳ	環境に優しい食生活を送りましょう	P7～
その他	食育全般に関すること	P8～

基本目標Ⅰ
食を通じた健康づくりをすすめましょう

目指す姿	推進したいこと
①充実した朝食を毎日食べている	・朝食を食べること ・主食、主菜、副菜が揃った朝食を食べること
②バランスのよい食事をとっている	・主食、主菜、副菜が揃った食事をとること ・バランスのよいお弁当や外食が提供されること
③生活習慣病の予防や改善のために、食生活に気をつけ実践している	・適正体重を知り、肥満ややせに気をつけること ・定期的に健診を受けること ・個人にあった食事や運動の指導が受けられる場が提供されること ・ライフステージに応じた課題を知り、取組を実践すること ・エネルギー量や食塩使用量に配慮された外食や惣菜が提供されること
④食塩の取り過ぎに気をつけ、実践している	・減塩を心がけ、実践すること ・食塩含有量の多い食品を知ること ・外食や惣菜に食塩相当量が表示されること
⑤よく噛んで、ゆっくり食べている	・歯と口のケアを実践すること ・よく噛んで、ゆっくり食べることのメリットを知ること ・左右両側で均等に噛むこと ・よく噛んで食べるための調理方法などを知ること ・食べ物による窒息事故について知ること
⑥食の安全に関する正しい知識を持ち、実践している	・食の安全に関する正しい知識を身につけること ・食品の表示をよく確認すること ・科学的根拠に基づく情報が提供されること ・食品関係事業者による安全が担保されること

	施策・事業名等	事業内容	令和5年度実績
1	保健・衛生研修会 こども未来局 指導監査課	保育所等に従事する給食担当者等を対象に、保健衛生や食品衛生、栄養管理に関する研修会を実施。	131 施設 149 名
2	保育所における食事の提供を通じた食育推進の取り組み支援 こども未来局 指導監査課	保育所で乳幼児期にふさわしい食生活が展開されるように、食事の提供に関するマニュアルを作成するとともに、幼児の健全な発育に必要な栄養量を含む、行事食や郷土料理なども取り入れた公立保育所の献立を参考送付している。また、食材については、地産地消に努めることを勧めている。	献立の提供は月に1回
3	子育て支援事業 こども未来局 指導監査課	公立保育所の調理業務員が、公民館等において、主に未就学児の保護者を対象に調理講習会を実施。	5 回 95 名
4	レシピ動画の配信 保健医療局 地域保健課	野菜摂取や減塩など各テーマに沿ったレシピ動画を作成し、健康づくりなどに役立つ食に関する情報とともに SNS で配信	配信場所・回数 ・Instagram：28 回 ・YouTube：24 回 ・LINE：24 回 ・Twitter：24 回 ・cookpad：24 回 ・イモモニター：50 回
5	食育イベント 保健医療局 地域保健課	本庁1階多目的スペース等において、食育イベントを実施。 内容：食育パネル展示、フードモデル展示、資料配布	6 月 来場者カウントなし 9 月 配布数 600 枚 10 月 配布数 300 枚、 2 月 配布数 1,680 個

6	福岡市地下鉄駅構内放送等を活用した啓発 保健医療局 地域保健課	福岡市地下鉄駅（35 駅）構内及び本庁舎で、食育に関する放送を実施。特に若い世代の課題となっているテーマは、市内大学の学生の声でアナウンスしている。	3 テーマで実施 ・食育の日 ・食生活改善 ・朝ごはんを食べよう
7	健康・食育パートナーズ 保健医療局 地域保健課	健康づくりや食生活改善に配慮したメニューやサービスに取り組んでいる飲食店等を増やすことで、市民の健康づくりを支援する環境整備を図る。	登録店舗数：160 店舗（R6.3 時点）
8	放課後児童クラブ等への歯科衛生士派遣 保健医療局 口腔保健支援センター	放課後児童クラブや子ども食堂に歯科衛生士を派遣し、歯に関するクイズや咀嚼チェックガムを活用しながら、楽しく歯と口の健康について学ぶ場を提供。	50 施設 3,691 名
9	おいしいオーラルフレイルチェック 保健医療局 口腔保健支援センター	アラカンフェスタにブースを出展し、咀嚼チェックガムを活用した咀嚼機能測定を実施し、歯科衛生士が測定結果に応じた歯科保健指導を行う。	262 名
10	福岡市歯科口腔保健推進協議会 保健医療局 口腔保健支援センター	本市における歯科口腔保健の推進のため、保健、医療、社会福祉、教育、食育などの関係者からなる協議会を開催。	福岡市歯科口腔保健推進協議会の開催 1 回
11	食品衛生月間行事 保健医療局 食品安全推進課	食品衛生月間行事において、料理教室や市場見学等を通し、食中毒予防の啓発を実施。	市民参加型の啓発 715 名
12	バザー開設者に対する衛生講習 保健医療局 食品安全推進課	地域でのバザーや模擬店等で提供される食品の衛生確保のための講習会の開催。	29 回（1,086 名）
13	市民を対象とした講習会 保健医療局 食品安全推進課	市民を対象とした出前講座や保健所での乳幼児健診などを利用した食中毒予防の講習会の開催。	101 回（2,742 名）
14	市場（食品衛生検査所・食肉衛生検査所）見学 保健医療局 食品安全推進課	消費者等への情報提供により、消費者の食に対する「安全・安心」の確保を図る。	食品衛生検査所： 20 回（984 名） 食肉衛生検査所： 3 回（13 名）
15	マタニティスクール 各区健康課	母子の健全な発育を図るため、妊婦等を対象に、妊娠中及び産後の食生活について講話を実施。	毎月 1 回程度
16	親と子の料理教室 各区健康課	福岡市食生活改善推進員協議会に委託して、各区において親子を対象にした料理教室を開催。	7 回 148 人 （各区 1 回）
17	地域食生活改善講習会 各区健康課	福岡市食生活改善推進員協議会に委託して、各校区において「充実した朝食」「バランスのよい食事」「適塩の食事」「よく噛んで食べる」「行事食や郷土料理」などをテーマに講習会を実施。	80 回 1,298 人

18	母子巡回健康相談 各区地域保健福祉課	健康相談に参加した乳幼児の親に対して、乳児の離乳食や幼児のおやつ、食習慣についての健康教育・個別相談を実施。	随時実施
19	子育てサロン・サークル等での母子教育 各区地域保健福祉課	子育てサロン、サークル、公民館乳幼児学級等で乳幼児の食習慣等について健康教育を実施。	随時実施
20	共通目標に向けた食育指導（各区食育推進事業） 教育委員会 給食運営課	朝食欠食への啓発、栄養バランスの整った食事の啓発を目標に食育指導を実施。	栄養教諭配置校
21	朝食喫食調査及び指導 教育委員会 給食運営課	小中学生を対象にした朝食喫食の状況調査と結果の分析を行い、朝食指導に活用。	小学校全校 中学校全校
22	学校給食コンテスト（各区食育推進事業） 教育委員会 給食運営課	中学校所属の栄養教諭等が中学生、特別支援学校中・高等部の生徒を対象に給食の献立を募集し、給食への興味・関心を高める。献立作成に取り組むことで、学校給食への興味関心を高め、いつも食べている給食への感謝の気持ちを育てるとともに、栄養バランスの知識や理解を深める。	中学校・特別支援学校（中等部・高等部）の生徒

基本目標Ⅱ

ふくおかでとれる食材を日々の食事に活かしましょう

目指す姿	推進したいこと
①福岡産のものを積極的に利用している	・家庭の食事で福岡産の農水産物を積極的に利用すること ・給食や飲食店等で福岡産の農水産物を積極的に利用すること ・福岡産農水産物を入手する機会が増えること
②福岡市の農林水産業に対する理解を深める	・福岡市の農林水産業について知ること ・農林漁業体験の場を提供すること ・様々なコミュニティにおいて農林漁業体験を取り入れていること

	施策・事業名等	事業内容	令和5年度実績
1	地産地消に対する市民の理解促進 農林水産局 政策企画課	市内産農畜産物を食材とした料理教室の開催、産地の見学や生産者との交流会、小学校における野菜の栽培指導などを実施する。 また、子ども達の記憶に残る市内産農水産物を、学校給食に提供するとともに、食育支援動画の放映又は生産者による出前授業を行う。	・食と農の体験教室 4回 ・学童菜園 5校
2	市内産農水産物の消費拡大推進 農林水産局 政策企画課	学校給食での市内産農水産物の積極利用推進や、農漁村地域での市内産農産物の販売イベント等を実施するとともに、ふくおかさん家のうまかもん（市内の農林水産物及びその加工食品等）を提供または販売する事業者を認定し、広報誌やHPで紹介する。	・小学校における主要 18 品目の市内農産物の利用割合 31.8% ・市内産農産物の販売イベント 2回
3	見て・来て・食べて・浜の活性化推進事業 農林水産局 水産振興課	①小学校4年生以上の子どもとおおむね 60 歳未満の保護者を対象とした博多湾での 1 日漁師漁業体験。②旬の新鮮な地元水産物を使ったフェアを開催。③プレミアム付き商品券を発行。	① 1 回 ② 4 回 ③ 179 冊販売
4	食肉市場 九州産ブランド食肉フェスタ 農林水産局 市場課	食肉市場関係者が、来場者に食肉市場の役割と機能、食肉の安全性をアピールし、市場の活性化と市場が取り扱う九州産ブランド食肉の普及促進を図ることを目的に開催。 九州産ブランド牛豚肉の試食販売や食肉の安全性や流通の過程について学ぶことができる「まなびブース」の設置などを実施している。	1 回（延べ 10,000 人）
5	魚料理教室（料理教室サポート事業） 農林水産局 鮮魚市場	鮮魚市場関係者で構成する「福岡魚食普及推進協議会」が、魚食普及の推進を目的に、鮮魚市場会館の料理教室で魚料理教室を開催する団体等に対して、鮮魚代等の補助を行う。	17 回（延べ 352 人）
6	魚料理教室（こどもおさかな料理教室） 農林水産局 鮮魚市場	鮮魚市場関係者で構成する「福岡魚食普及推進協議会」が、魚食普及の推進を目的に、鮮魚市場会館の料理教室で子どもやその保護者を対象に、魚料理教室を実施。	5 回（延べ 92 人）
7	長浜鮮魚市場市民感謝デー 農林水産局 鮮魚市場	鮮魚市場関係者で構成する「福岡魚食普及推進協議会」が、魚食普及の推進を目的に、「市民感謝デー」として、市場の一部を開放している。 全長 200m に及ぶ仲卸売場棟内には約 40 店舗が軒を連ね、新鮮な魚介類や冷凍品、干物などの加工品を購入することができる。また本マグロの解体ショーやさばき方コーナーなどのイベントも開催している。	6 回（延べ 17,097 人）

8	ベジフル感謝祭 農林水産局 青果市場	青果市場関係者で構成する「ベジフルスタジアム 活性化委員会」が、来場者の市場機能の理解醸成、 青果物の消費拡大を目的に、青果物の試食・販売 や料理教室などを実施。	12回（延べ14,600人）
---	------------------------------	--	----------------

基本目標Ⅲ
食を楽しむ、ふくおかの食文化を伝えましょう

目指す姿	推進したいこと
①家族や仲間と楽しく食事をしている	・家族で食卓を囲む機会を増やすこと ・地域や職場の人と一緒に食事をする機会に参加すること ・共食の場の提供が増えること
②郷土料理や行事食を取り入れ、次世代に伝えている	・家庭で郷土料理や行事食を取り入れること ・給食や飲食店等で郷土料理や行事食が提供されること ・郷土料理や行事食について学ぶ場が提供されること ・次の世代へ郷土料理や行事食を伝えること
③食事の基本的マナーが身についている	・「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をすること ・給食を通じて、正しいマナーを身につけること ・家庭において正しいマナーが実践され、伝えられること ・次の世代へ正しいマナーを伝えられること

	施策・事業名等	事業内容	令和5年度実績
1	#がめ煮つくろう 保健医療局 地域保健課	がめ煮を素材として、家庭や地域に「食」に対する関心を深めていく取り組み。各種料理教室、健康・食育教室、Instagram、cookpad による情報発信等を実施。	随時
2	伝え継ぐ あちゃら漬け 保健医療局 地域保健課	あちゃら漬けの普及啓発を通し、日頃の食生活に行事食や郷土料理を取り入れる機会を増やすと共に、野菜摂取や減塩など食を通じた健康づくりに繋げることを目的に、SNSを活用した情報発信、レシピの紹介、ポスター掲示等、様々な取り組みを実施。	試食配布イベント 1回
3	福岡シェアダイニング事業 福祉局地域福祉課	「食」を通じた交流を、独居高齢者の交流や多世代交流にも生かす居場所づくりを支援	5回

基本目標Ⅳ

環境に優しい食生活を送りましょう

目指す姿	推進したいこと
①環境に配慮した食生活を送っている	・輸送距離が短い食品を選ぶこと ・過剰包装ではなくゴミが少ない食品を選ぶこと ・すぐに使う予定の食材はお店の食品棚の手前から取る「てまえどり」の実践 ・グリーン購入の実践
②食品ロスについて認識し、削減に取り組んでいる	・安易に食べ物を捨てないこと ・買い物の前に在庫を確認すること ・作り過ぎないこと、飲食店で注文しすぎないこと ・残さず食べる ・小分け商品やばら売りなど、適量購入の場が増えること ・計画的な買い物をすること ・食材を使い切ること

	施策・事業名等	事業内容	令和5年度実績
1	家庭系食品ロス対策の推進 環境局 ごみ減量推進課	食品ロスの現状や、家庭での取組み、食材を無駄なく使い切るエコクッキング等の講座を実施。また、使い切れなくなった食品の有効活用を目的としたフードドライブを実施	出前講座 18 回、参加人数 529 名 フードドライブイベント（2 か所） 回収量 897 個（249kg） 常設フードドライブスポット 回収量 4,759 個（1,395.4kg） エコクッキング 1 回
2	みんなでフードロスゼロ！おいしい福岡エコ運動 環境局 ごみ減量推進課	飲食店、宿泊施設、食品小売店を対象として、適量注文や食べきり等の食品ロス削減に取り組む事業者を「福岡エコ運動協力店」として登録し、啓発ツールの配布、広報等の支援を行うとともに、協力店の認知度向上と市民の利用促進につながる広報・啓発を実施	福岡エコ運動協力店登録数 692 店舗 （令和 6 年 3 月末時点） 協力店の認知度向上と拡大を図るため、協力店の取組みを紹介する特設ホームページ「ロスせんばい！福岡エコ運動協力店」を令和 5 年 12 月から開設

その他	食育全般に関すること
-----	------------

	施策・事業名等	事業内容	令和5年度実績
1	地域と連携した食育推進 市民局 公民館支援課	＜公民館＞ 乳幼児ふれあい学級、家庭教育学級、子どもの健全育成関連事業等において、食育をテーマとした学習や料理実習を実施。	乳幼児ふれあい学級 実施回数：1,449回 参加延べ人数：38,161人 家庭教育学級 実施回数：314回 参加延べ人数：6,166人 子どもの健全育成関連事業 実施回数：2,094回 参加延べ人数：62,367人
2	食に関する情報提供 こども未来局 指導監査課	毎月の公立保育所の給食献立表、おすすめ献立、および食育だよりをホームページに掲載している。	月に1回更新
3	食生活改善推進員養成教室 保健医療局 地域保健課 各区健康課	食を通じた地域のボランティア活動を行う地域リーダーを養成する講座を各区で開催。	受講者157名 (本庁、各区実施分合計)
4	福岡市食育推進会議 保健医療局 地域保健課	食育基本法第18条第1項に規定する市町村食育推進計画を作成するとともに、関係機関等と連携し、その実施を推進するため、また、食育の推進に関する重要事項について審議し、及び食育の推進に関する施策の実施を推進するために、福岡市食育推進会議を開催	福岡市食育推進会議の開催 1回
5	福岡市食育推進連絡会議 保健医療局 地域保健課	関係部局の課長による連絡会議として、食育に関する基本的事項、各部局の実施状況の収集・提供、相互協力、基本的施策の推進に関すること、及び食育推進会議に関することについて福岡市食育推進連絡会議を開催。	福岡市食育推進連絡会議の開催 1回
6	各区食育推進に関する会議 各区健康課	区の特徴に応じた食育を地域の関係団体と連携して推進するため、また、地域における食育推進の状況についての情報共有等を目的とし、各区保健福祉センターを中心に食育推進に関する会議を開催。	各区食育推進に関する会議の開催 各区1回
7	「福岡市健康づくり月間」「福岡市生活習慣病予防月間」における食育の啓発 各区健康課	区役所等において、食育パネル展やレシピ集の配布、食育に関するポスターの掲示等を行う。	随時
8	料理教室 南区健康課	南区食育推進事業（食に着目したアクティブエイジング事業）として、地域や大学と協働した料理教室を開催	9/13 26名 9/14 30名
9	学習と関連付けた給食献立作成	各月の小学校給食に教科学習等に関連する食材や献立を取り入れて、給食を生きた教材として活用。	毎月1テーマ

	教育委員会 給食運営課		
10	毎月 19 日の食育の日 教育委員会 給食運営課	小中特別支援学校において食に関する指導を実施。	小中特別支援学校
11	献立配膳図・「食」一口メモ 教育委員会 給食運営課	各クラス毎に掲示、食に関する情報提供。	月 1 回 小学校全校
12	放送原稿「きょうの献立 なあに」 教育委員会 給食運営課	放送委員等が、毎日の献立に関する説明を行い、食に関する関心を高める。	小学校全校
13	学校給食週間 教育委員会 給食運営課	学校給食の意義や役割等についての理解を深めるため、学校給食に対する校内行事等の取組を実施。	小・中・特別支援学校全校
14	給食試食会 教育委員会 給食運営課	保護者や地域を対象に、試食を通して学校給食についての理解を深めてもらい、学校と連携した家庭や地域における食育推進について講話を実施。 (PTA主催)	小学校 74 校 中学校 2 校 特別支援学校 2 校
15	食育便り（給食だより） 教育委員会 給食運営課	給食を通した食育情報の提供。	全家庭向け
16	栄養教諭・学校栄養職員 による配置校・担当校へ の食に関する指導（小学校） 教育委員会 給食運営課	配置校：食に関する指導の全体計画に基づき、教科等における指導を計画的に実施。 担当校：食に関する指導全学級を対象に指導。	配置校：全学年 担当校：全学年
17	栄養教諭・学校栄養職員 研修 教育委員会 給食運営課	児童生徒の食育を担う職員の更なる資質向上のため、栄養教諭、学校栄養職員を対象に研修を実施。	栄養教諭・学校栄養職員 113 名
18	教職員 1 年次研修 教育委員会 給食運営課	各学校の食育推進体制について新規採用教職員を対象に講義を実施。	新規採用栄養教諭 1 名